

あゆみ（沿革）



おいちょう宇都宮シンボルマーク

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| 1965年（昭和40年） | 宇都宮市老人クラブ連合会結成 |
| 1973年（昭和48年） | 老人クラブ運営指針を国が策定 |
| 1984年（昭和59年） | 財団法人 宇都宮市老人クラブ連合会設立 |
| 1991年（平成3年） | 宇都宮市総合福祉センター開設
同センター6階に事務局を移転 |
| 1996年（平成8年） | 老人クラブ21世紀プランを国が策定 |
| 2007年（平成19年） | 市町合併に伴い
河内町・河内町と連合会を統合 |
| 2009年（平成21年） | ※愛称を「おいちょう宇都宮」とする
シンボルマークを設定 |
| 2013年（平成25年） | 財団法人解散
任意団体として
宇都宮市老人クラブ連合会結成 |

※【愛称「おいちょう宇都宮」】

宇都宮市中央1丁目にある樹齢400年を超える「大いちょう」は、宇都宮空襲の時、幹を残して全て消失してしまったが、翌年の春には新芽を付けて市民を勇気付けました。以来、今日まで宇都宮のシンボルとして市民に親しまれている木。

いちょうの花言葉は「長寿」

【シンボルマーク】

宇都宮市の市木である「いちょう」の葉と実り（成果）である銀杏をイメージしたものの。